

「児童養護施設への措置費の支払いを効率的に行いたい！」

実証実験報告書

フリー株式会社
×
福祉局 児童家庭課

目次

1. 実証実験の概要	3	3. 課題と今後の展開	16
1-1 背景・目的	4	3-1 サービス/ システムにおける課題	17
1-2 対象となる業務の全体像	6	3-2 導入に向けての課題と解決策	18
1-3 目標・KPI	8		
2. 実証実験の結果	12	4. 参考資料	19
2-1 KPIに関する結果	13	4-1 成果物（制作物）紹介	20
2-2 工夫したポイント	14	4-2 サービス/システム紹介	21
2-3 実証実験で得られた発見	15		

1. 実証実験の概要

1-1 背景・目的

本最終報告書に記載している内容の取り扱いに関して

本最終報告書に記載しているソリューションは、愛知県とフリー株式会社の間で締結した協定に基づき、本実証実験の課題解決という目的に限って安全性を担保した上で運用しております。本実証実験外での利用で起こり得る事故リスクの責任をフリー株式会社は一切負いかねます。

1-1 背景・目的

<本実証実験の背景>

- 施設の小規模化・分散化が進んでいることに伴い、措置費の請求施設数が増加、事務作業が増加している（現在、児童養護施設を含め約70か所の施設の措置費請求に対応している）。
- 措置費の制度も複雑化しており、施設側・県側ともに請求書の内容点検や証憑等の収集、内容照合に多大な時間と労力を要している。また、これに関する施設からの問い合わせ対応にも時間がとられている。
- 事務作業は増加している中で、人手を割く以外の対応策がなく効率化するための施策の実装が不可欠な状況である。しかし目の前の業務に追われ、抜本的な業務改善に取り組むことができていない。



上記背景を踏まえて、本実証実験で設定した課題（措置費支払いの事務負担の軽減）の解決を目的として、愛知県とフリー株式会社で共同でソリューションを検討。検討にあたり、freee会計※1が持つ一部機能を課題解決を目的として本実証実験で活用することとした。

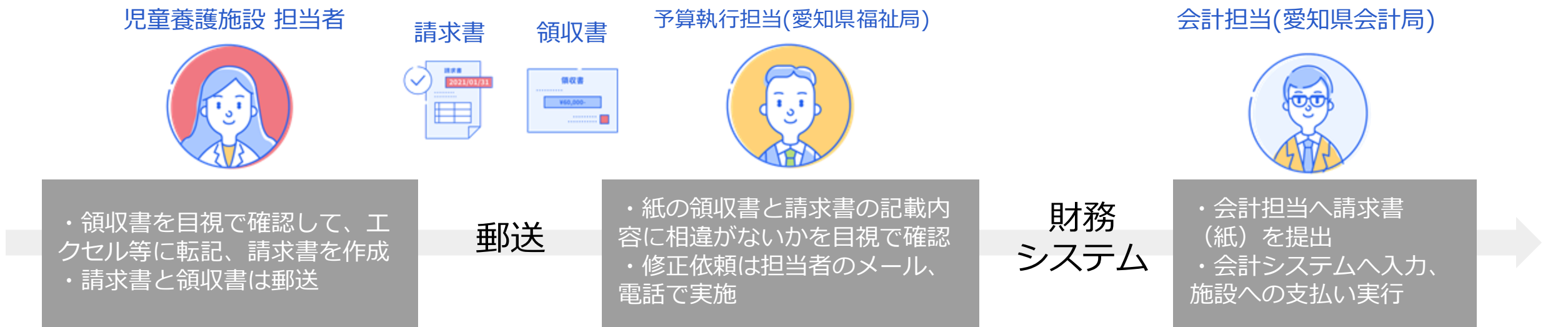
<本実証実験の目的>

- 目的：措置費の申請・内容の確認・および承認をデジタル上で行うことで、愛知県および児童養護施設の担当者の業務効率化を通じた事務負担の軽減がどの程度実現できるかを検証する

※1：freee会計はフリー株式会社が開発・提供する、バックオフィス業務効率化を実現するクラウド型の会計ソフトである（詳細は「4-2 サービス/システム紹介」を参照）

1-2 対象となる業務の全体像

従来の措置費申請～承認までのフローと課題分析



課題分析（実証実験開始時）

児童養護施設

- ・大量の紙の領収書を見ながら手作業で請求書を作成しているため、項目や金額の記載ミスが発生するリスクが高いと推測される。
- ・作成した請求書に大量の領収書を紙で貼り付け、郵送する作業は、施設職員にとって大きな事務的負担となっている。

愛知県

- ・修正依頼をメールや電話で行っているため、過去のやり取り履歴を追跡・検索するのに高いコストがかかり、担当者間の引き継ぎ時にも大きな負担となっている。
- ・修正事項が発生した場合、請求書を再度紙で郵送してもらう必要が生じることが多く、これが金額確定までの時間を長期化させる要因となっている。
- ・請求書と領収書が紙媒体で提出されるため、職場でのみエビデンスチェックが可能であり、働き方の柔軟性が制限されている。

1-2 対象となる業務の全体像

実証実験の範囲および実証実験の業務フロー

実証実験の範囲



アプローチおよび期待できる効果

<freee会計を活用した申請・承認のデジタル化及びコミュニケーション個所の統一>

- ・ デジタル申請機能：児童養護施設の書類の作成・郵送コストの削減を通じた事務負担の軽減
- ・ データの一覧機能：freee会計内でデータ一覧機能の活用により、請求書と証憑の内容照合の時間短縮
- ・ チャット機能を活用したコミュニケーションの効率化による、申請受領から承認までの期間の短縮および履歴照合の簡易さによる引き継ぎコストの削減

<共通のクラウドフォルダを利用することによる資料提出の簡易化>

- ・ 児童養護施設および愛知県との間での資料の授受効率性向上

1-3 目標・KPI

試行運用の概要

<方法>

freee会計を活用した運用フローに則り、県内の児童養護施設2施設にて措置費を申請、県担当者にて審査・承認までを実行する。

<期間>

2025年 10月～11月

<目標KPIの評価>

児童養護施設および県担当者に対するアンケートおよびヒアリング等を用いて、システム利用による時間や負担感の軽減度合いを測定、実証実験前後で比較する。

1-3 目標・KPI

KPIおよび各KPIの算出方法について

K P I	算出方法	現状値	目標値
県担当者の審査に要する時間	<ul style="list-style-type: none">10月申請において、県および児童養護施設の担当者が審査および申請に要する時間の平均値を比較する実証対象の2施設と、実証対象外の同規模施設の審査に要した時間（平均）を比較する	51分	現状値以下
児童養護施設担当者の申請に要する時間	<ul style="list-style-type: none">現状値：実証対象外の同規模施設の審査に要した時間の平均値実績値：実証対象の2施設の審査に要した時間の平均値	145分	現状値以下
県担当者の審査業務に対する満足度	<ul style="list-style-type: none">アンケートにて当該事務に係る負担感を集計。集計した負担感を数値化した上で、平均値を実証実験前後で比較数値化の方法は次ページ参照	34点	60点
施設担当者の申請業務に対する満足度	<ul style="list-style-type: none">アンケートにて当該事務に係る負担感を集計。集計した負担感を数値化した上で、実証実験対象の2施設の数値（平均値）を実証実験前後で比較数値化の方法は次ページ参照	56点	60点

1-3 目標・KPI

KPIの測定方法について（施設担当者の満足度）

Step1 | 下表に基づいて施設ごとの満足度を数値化する

申請書作成における各プロセスの負担感を教えてください。	非常に負担が小さい	負担が小さい	どちらでもない	負担が大きい	非常に負担が大きい
書類（証明書、領収書等）の収集	20点	15点	10点	5点	0点
書類の保管・管理	10点	8点	5点	2点	0点
申請書類の記入	20点	15点	10点	5点	0点
チェック・確認	15点	11点	7点	3点	0点
申請書類の郵送	15点	11点	7点	3点	0点
提出後申請内容の修正対応	20点	15点	10点	5点	0点

- ※ すべてのプロセスについて「非常に負担が小さい」と回答した場合、満足度100点、すべてのプロセスについて「非常に負担が大きい」と回答した場合、満足度0点となるように設計
- ※ 本事業で特に効率化を目指すプロセスについては傾斜配点し、「非常に負担が小さい」と回答した場合、満足度20点となるように設計

Step2 | 実証事業の対象となる施設の満足度の平均を算出する

1-3 目標・KPI

KPIの測定方法について（愛知県担当者の満足度）

Step1 | 下表に基づいて担当者ごとの満足度を数値化する

審査における各プロセスの負担感を教えてください。	非常に負担が小さい	負担が小さい	どちらでもない	負担が大きい	非常に負担が大きい
提出書類の不備の多さ	25点	19点	13点	7点	0点
不備のチェック	25点	19点	13点	7点	0点
施設担当者とのコミュニケーション	25点	19点	13点	7点	0点
提出書類の印刷・差し替え等の管理	25点	19点	13点	7点	0点

※ すべてのプロセスについて「非常に負担が小さい」と回答した場合、満足度100点、すべてのプロセスについて「非常に負担が大きい」と回答した場合、満足度0点となるように設計

Step2 | 実証事業に従事する担当者の満足度の平均を算出する

2. 実証実験の結果

2-1 KPIに関する結果

実証実験前後のKPIの比較

KPI	現状値	目標値	結果
県担当者の審査に要する時間	51分	現状値以下	40分 削減率 21.6% 目標達成！
児童養護施設担当者の申請に要する時間	145分	現状値以下	105分 削減率 27.6% 目標達成！
県担当者の業務改善効果に対する満足度	34点	60点	50点 改善率 47.1%
施設担当者の業務改善効果に対する満足度	56点	60点	65点 改善率 16.1% 目標達成！

2-2 工夫したポイント

<ポイント1：既存の様式の構成を変えない形で申請フローを構築>

- ・ 児童養護施設側の書類作成負担を抑えることに成功

<ポイント2：freee会計への書類のアップロードに加えて、各書類ごとに費目を記載したタグをつけるフローを導入>

- ・ 費目ごとの発生費用をタグを用いて一覧化することで、金額および措置費対象か否かのチェックを容易にした。

<ポイント3：チャット機能を活用した、修正対応依頼>

- ・ 従来の電話・メールでのコミュニケーションをfreee会計上のチャットに一元化にすることで効率化
- ・ 申請内容の承認およびチャット上のコメントはメールおよびアプリで通知されるため、履歴等の確認がしやすい。

2-3 実証実験で得られた発見

システム化に関する所感

<児童養護施設 | デジタル化に対する意見>

- ・ システムの使用感：手順の変更による負担感等が示されたものの、数回のトライアルがあれば、デジタルリテラシーに関わらずシステムを問題なく利用できるという好意的な意見を得た。
- ・ 事務負担の軽減：中長期的には書類の保管義務がなくなること、書類の保管コストや事務負担の軽減が見込めるなど、デジタル化への移行について積極的な賛成意見が出た。
- ・ デジタル化の対象について：学校など教育機関の署名押印が必要な書類のデジタル化、県内の市区町村の申請のデジタル化について強い要望を受領した。

<愛知県 | 申請書類の確認について>

- ・ タグを用いたデータの集計機能により、費目ごとの合計金額と証憑の確認が画面上で行いやすくなり、審査作業がスムーズになったという意見が出た。
- ・ freee会計に保存される証憑データの閲覧性（フォルダの階層分けなど）が実現することで、さらなる確認作業の効率化が見込められるのではという意見が出た。

<愛知県 | 申請後のコミュニケーションについて>

- ・ 修正の依頼をfreee会計上のチャット機能を使って伝達できることで、以前の手法（電話・メール）に比べて手間が省けた。
- ・ コメントにより早く気づけるようになると、さらに承認までの時間が削減できる可能性がある。

3. 課題と今後の展開

3-1 サービス/ システムに関する課題

下記のような課題が挙げられたものの、
実証実験参加者からは、いずれも「システム面で大きな問題はない」との意見を得たため、
継続利用による習熟が一番の解決策であると考えます。

一方で、より利便性を追求したUX改善は中長期的に検討する



<課題①：チャットを用いたコミュニケーションの円滑化>

- チャットのメール通知には気が付いたが、メールを開いてからシステム画面に遷移するまでの挙動がわかりにくかったという意見があった。
- これに対しては、中長期的にシステム改善の検討を行う。

<課題②：freee会計上での書類整理の改善>

- 現状ではアップロードした書類の整理を直感的にしづらかったため、県担当者のチェック漏れが心配という声があった。
- システム改善を検討しつつ、既存機能を活用した整理方法を今後検討することで、チェック漏れを防止することが可能と考える。

3-2 導入に向けての課題と解決策

＜課題①：愛知県の会計システムとの連携＞

- 本実証実験で対象外としていたが、本業務において大きな負担となる請求書の審査もデジタル化することで更なる効率化が期待できる。
- 中長期的にfreee会計上の申請データをデジタル上で愛知県の会計システムと連携させる仕組みができるとなおよいと考える。

＜課題②：措置費申請におけるデジタル化の対象自治体の拡大＞

- 児童養護施設から、他の自治体にも同様の措置費申請を行っているため、全ての自治体への申請を同一のシステム化してほしいという要望があった。
- システムを導入する際には、県と他の自治体で申請方法が統一されていると児童養護施設における措置費申請が更に効率化できると考えられる。
- 複数の自治体が同一システムを運用する場合、児童養護施設が1つのIDで自治体への申請を一元的に処理するシステム/業務の運用の検討が可能となる。

4. 參考資料

4-1 成果物（制作物）紹介

申請内容の照合および修正依頼のデジタル化（freee会計）

freee 会計

ホーム

経理

請求・入金

発注・経費・支払

会計

取引入力

会計帳簿

分析・レポート

決算申告

給与計算

会計連携機能

入力効率化

申請の設定

マス・口座

その他設定

フィルタ

デフォルト

措置費 内容照合

フィルタを追加

発生日 2025/01/01~

メモタグ 特別育成費（教科書代等）

登録者

一括編集

一括削除

表示中: 20件
収入: 0円 | 支出: 268,234円

収支	発生日	期日	勘定科目	税区分	金額	タグ	備考
<input type="checkbox"/>	2025-11-01				31,420	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				0,600	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				0,930	特別育成費（通学のための交通費）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				0,930	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				0,930	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				2,350	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				3,050	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				1,880	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				4,000	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				2,600	特別育成費（教科書代等）	
<input type="checkbox"/>	2025-10-01				10,810	特別育成費（教科書代等）	

取引の編集

ファイルを送付

No. 27

No. 27 ファイルの詳細

領収書

金額 39,960 円

株式会社フリー様

飲食代について
上記、正に領収いたしました。

コメント

2025-10-20

手動

2025-10-10

手動

2025-10-10

証憑データの一覧化機能を用いて、
申請内容の確認を効率化

愛知県および児童養護施設とのやり取りはチャットコミュニケーションに一元化

4-2 サービス/システム紹介

freee会計のご紹介

freee会計は、面倒な経理業務を自動化し、業務効率化を実現するクラウド型の会計ソフトです

01 レシート管理

レシートを転記するのが手間。
保管しておくのも大変！

>>

freeeなら

レシートをスマホで
撮るだけでOK



02 入出金管理

お金の出入りを紙やエクセルに
まとめるのが大変！

>>

freeeなら

銀行口座やクレジットカードと自動連携



03 請求書管理

見積書、請求書、納品書…
ひとつの案件で処理が多すぎ！

>>

freeeなら

ひとつの書類から
入金確認まで一元管理



04 経営状況の確認

あちこちの情報を
資料化するのが面倒！
※スタータープラン以上

>>

freeeなら

各種レポートを
自動で作成！



05 経費精算

領収書チェックや承認、
振込依頼まで気を抜けない！
※スタータープラン以上

>>

freeeなら

スマホでどこでも承認。
集計業務も自動計算！



なぜ freee会計 を選ぶべきなのか？

業務の逼迫を引き起こす原因のひとつに、様々なツール(書類・業務システムなど)に繰り返し行う転記作業があります。freee会計は、会計データの自動取得・自動仕訳で経理の手間を大幅カット。ひとり経理の効率化から内部統制まで、freeeは会社の成長ステージに合わせてバックオフィスを最適化します。